

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どろんこジュニア			
○保護者評価実施期間	R6年11月20日		～ R6年11月30日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	R6年11月15日		～ R6年11月22日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【発達支援】 運動 / コミュニケーション ・遊びの内容や役割を他児と相談しながら決める環境設定 ・伝言ゲームなどの遊びから言葉の習得に繋げる ・生活の中で起こる事柄に対するロールプレイング ・遊びやスポーツなど身体を大きく動かす運動 ・視覚や聴覚、触覚を刺激するゲームやクイズ ・指先を動かす運動	・子ども主体、子どもが主役であること ・子どもたちが尊重され、個々の違いを大切にしたいコミュニティ作り ・限られた時間の中で動と静の活動を設定し、クールダウンした状態で自宅に送り届けること ・仲間と協力する機会を作ることで、自分を認め、相手を受け入れる気持ちを育むこと ・具体的な称賛を伝え、自信に繋がれるようにすること	・専門的支援を行う上で職員が子どもたちの身体の使用方やコミュニケーションの仕方にさらに注目できる環境作り
2	【発達支援】 健康 / 認知 / 社会性 ・時間に応じた行動の切り替えや生活動作の促し ・季節に合わせた活動、制作 ・想起課題（自分で考える） ・ごっこ遊びや模擬店などを通した職業体験 ・集団活動の中での協力作業 ・地域活動への参加や公共施設へのお出かけ ・因果関係理解への促し	・活動プログラム内でタイムスケジュールも設定しているため、見通しを持って活動に入れるようにしていること ・季節を意識できるような活動プログラムを設定していること ・注意喚起は職員から発信するだけでなく、子どもたちからも自主的に発言してもらう機会を作ること ・学年を越えた協力作業ができる機会を作ること	・職員の得意分野も活かした多種多様な活動を取り入れていくこと ・自分たちの取り組みをもっと多くの人に知ってもらいたいこと
3	【家族支援】 ・送迎時、連絡ノート、LINEにて情報共有をしている ・ユース（中高生）との連携もあり、小学校卒業後の生活についてのイメージを共有することができる ・事業所合同親子で参加できる行事を企画	・無記名の忘れものは随時LINEにてお知らせすること ・送り時に活動の様子や活動の中で子どもたちのキラリとしていたところを伝えること	・活動の様子の動画や写真を家庭に送りたい ・親子行事と茶話会を同時に開催しているため、茶話会だけの日を設けて保護者様の横の繋がりを作る機会を提供したい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【発達支援】 ・1週間おきに活動プログラムを設定しているため週2回以上利用している子の制作活動が同じになってしまうことがある	・1度で作り終わる内容になっていることが多い	・利用回数により制作物や目標設定を考慮する
2	【家族支援】 ・個別対応のニーズに応えることが難しいこと ・ペアレントトレーニングに関連する家族支援ができていないこと ・保護者交流の機会を増やせていないこと	・小集団～集団の活動をメインにプログラムを組んでいること ・ペアレントトレーニングは専門性が高く、事業所に取り入れるにはハードルが高いこと ・年に2回の茶話会の場合はあるが、他で設ける大枠が定まっていないこと	・家庭と話して代替案等を提案していく ・職員が家族支援に関連する研修受講の機会を増やし、複数名の職員で共通認識を広げていく ・気軽に事業所に相談できる仕組みを作ることや、茶話会は事業所を越えた交流ができるように先輩保護者さんに協力を促し、開催していく
3	【地域連携・移行支援】 ・地域との交流や関わりの機会が少なく、交流のきっかけがあっても単発で途切れてしまうこと	・SDGsの一環で海や公園、地域でゴミ拾い活動をしているが、地域を巻き込む・認知されるまでは至っていないこと	・地域の他事業所とも交流の機会を持てれば一緒に取り組み、横のつながりを増やしていく

事業所における自己評価結果

事業所名		どろんこジュニア				公表日	令和7年1月17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		耐震構造上、柱があるが考慮した活動内容を考えている。柱に保護材を巻いている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		身体を動かす活動をしているので職員は多く配置できているが、個別対応が必要な場合に集団を見守る目が減ってしまうので、利用者の特性を考慮した職員の配置を工夫するなど臨機応変に対応している。お迎え時間が重複して配車が難しいときには他事業所に協力をお願いできる体制になっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関前にスロープ、多目的トイレはあるが、車椅子に配慮したバリアフリー化はできていない。ロッカールームや玄関付近など、死角になってしまう部分もあるので、子どもの出入りがあるときには支援者が立ち会うようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝掃除を行っている。相談室、フリースペース、プレイルームを活動内容に合わせて使い分けている。空間の線引き等、もう少し工夫ができるかなと思う。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室や多目的室、調理室等を使い、必要な環境調整を行っている。静かに過ごしたい時等、状況に応じて静かな空間で落ち着ける環境を提供できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼やミーティングで共有し、振り返りの時間を設けたい。PDCAよりもCAP-doが良いというような意見も耳にするが、広く職員に参画できてはいない。	目標設定と振り返りができる環境作りを目指す。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや回覧で共有し、どのような意見をいただいているのか、改善できる点について話し合っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			職員同士で話し合っって方向性や進め方などを共通認識を持って進められるようにしていく。低学年・高学年チーム内でも子どもの様子を共有する機会を確保していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者による外部評価は受けていないが地域巡回を受けている。別事業所の職員に活動を見に来てもらい、物の配置やルール等の改善できる点を列挙してもらい、改善に繋げている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人として年4回の全職員出席の研修を行い、外部研修を随時周知し、内部研修を実施している。自主的に外部研修を受けた職員からのフィードバックもある。	自法人の研修以外にも行き、自己研鑽していくよう促していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは利用家庭に配布している。家庭に配布している。	法人ホームページにも公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画更新の際に保護者と直接お話しすることで情報共有や共通認識を持つことが増えたと感じている。家庭面談前に高学年との直接アセスメントを行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員で相談しながら方向性を決められるようになるべく集まって話せる時間を作っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日案、日誌、経過記録など複数の箇所で記録が残せるようになっている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		過去の記録を振り返りながら、挑戦したい遊び、繰り返したい遊びを工夫している。固定化されないように気を付けている。		

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本は集団活動ですが、少人数の個別活動の時間も設け、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		週ごとにリーダーが設定しており、支援の内容や役割分担について確認している。支援者が臨機応変に活動の中で状況を判断して行動している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後は職員総出で送りがあるため十分な振り返りはできていないが、朝礼・昼礼・LINE等で情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども達の意見から遊びを決める機会を設けている。話し合いでレクを決めたり高学年にリーダーを担ってもらい、意見をまとめて決めるなどしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		お迎え時等に学校の先生と情報共有をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		支援センター主催の研修会等を事業所全体で周知している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園での活動時に利用児以外の子どもたちも一緒に遊びに混ざることがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人として参加している。	平日夜の開催なので、出席することが難しい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に情報を共有したり、懇談の機会を設けている。	
保護者へ	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		法人内でペアレントトレーニングは行っていないが、お便り等で研修会をお知らせしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者との懇談の他に5、6年生はスタッフと2人で懇談をする機会を設けている。	
	38	「放課後等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		傾聴してご家族が日々頑張られているところを称賛し、ご家族が取り組めそうな支援をお伝えしています。自分が対応に迷う内容については職員に相談しながら行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親子行事の中で茶話会を開催して情報交流の場を設けている。来年度は茶話会の機会を増やしたいと思っている。	

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子ども達に伝える時には、ホワイトボード等、視覚情報を用いる事が多い。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		町内会のイベントにて事業所紹介をする機会があった。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アレルギーやかかりつけ医が一覧になったファイルを作成し、2階と1階においている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書を家庭からもらうことがない。 アレルギーがある利用者に関しては、家庭より伝えられて把握はしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		検討が遅れないようにしたい。検討後の経過について話し合う機会を設けたい。 ヒヤリハットを報告後、方針などを話し合う時間が不足している。	ミーティングや朝礼だけでなく、検討する時間を設けていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		どろんこジュニア		公表日		令和7年1月17日		
				利用児童数		51		
						回収数		
						30		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	0	0	2	・活動等を見せていただく機会もありますが、広くてスペースが十分だと思います ・館内図のようなものを保護者に見せてもらえるとうわかりやすいと思います。実際にどんな構造なのか少々分かりにくいと感じています	3月～4月のお便りで館内図を同封いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	3	0	1		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	0	0	0	・こどものことをよくわかっていてくださっているなと感じます ・苦手な分野を個別で支援を受けられるとなお良いと感じます	ご要望ありがとうございます。検討させていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	30	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	1	すみません、ガイドラインの内容を理解できていません	子ども家庭庁にてガイドラインが公開されております。具体的な支援内容を設定するよう心がけております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1	0	2	・色々と面白い様々な活動をしてくださっています ・本人は現状で楽しんでいます遊びの内容のバリエーションが増えても良いと思います	ご要望ありがとうございます。固定化されず、子どもたちにワクワクしてもらえるような遊びが増えるよう頑張ります！
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	1	12		現状放課後児童クラブや児童館との交流はございませんが、公園で地域の子もたちと一緒に遊ぶことがあります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	1	0	1	ペアレントトレーニングの方は行われているか分かりません	ペアレントトレーニングは実施者の専門性が必要とされるため、現状研修会は開催しておりませんが、送迎時や懇談、茶話会や法人主催の研修会等で情報共有をさせていただいております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	0	0	0	面談等で子どもの様子やアドバイスなど頂き、毎回ありがとうございます	連絡ノート、送迎時、面談等で学校やご家庭での様子をお知らせいただき、ありがとうございます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	0	0	0	皆さん優しく温かく、安心して子どもをお願いします。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後とも安心していただけるよう精進いたします。

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	27	0	0	3	・親子参加の行事が多く、他の保護者様とも交流できて嬉しいです。兄妹も参加できるのも大変ありがたいです。 ・兄弟同士の交流の機会があるが少し不明です。	今年度は親子BBQ、ジュニア祭り、餅つきとたくさん保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。来年度は茶話会だけの日を設けたいと考えております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	0	0	0	・こまめに連絡くださります ・職員の方の負担が増えていないか心配です ・お便りが白黒のため見づらく、利用者のみ見られるネットでの写真公開、写真販売などあると子どもの様子が見られて嬉しいです。	温かいお言葉ありがとうございます。 子どもたちの楽しそうな様子をもっと発信できたらと思っているくらいです。 ご意見ありがとうございます。12月からお便りをLINEにて配布させていただきます。カラー嬉しい、文字が拡大できるから助かる等、嬉しいご意見いただけました。 日記で活動時の写真を使いたい等のご要望がございましたら個別に写真データをお渡しすることも可能です。お気軽にご相談ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	0	0	1		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	0	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	4	0	1	・とっても楽しみにしております ・休みの日に行くときはめんどくさいと行ったりしますが、帰ってくると毎回楽しかったと笑顔で帰宅します ・嫌がってはいないが、時々やめれるかどうかを聞いてきます ・学童の方が楽しいようで積極的さは減ったと思います(成長)	子どもたちが集まれば楽しいことも悲しいこともありますが、楽しいことはとんとん楽しみ、悲しいことはみんなで話し合って乗り越え、色んな出来事が子どもたちの生きる力の糧となってもらえたらと思います。 楽しみの幅が広がっていることはまさに成長です☆ (顔を見れなくなるのは寂しいですが)
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	0	0	とっても感謝しています。いつもありがとうございます。	こちらこそありがとうございます。 子どもたちのかけがえのない時間を預かりしていることを意識し、子どもたちが楽しく安心して過ごせる場所であり続けたいと思います。